

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8239
担当部課名	経済部	農政	課	農地整備 係
事務事業名	農道等維持管理費(相模川左岸土地改良事業負担金)		事業コード	31530

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第5節	都市農業の振興	~63 年度
施策名	第3施策	農地の保全と農業基盤の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

土地改良法、慣行水利権 改良区認可番号 S27.7.28神第28号
--------------------------------------

3 事業概要

(1) 事業の目的 相模川左岸土地改良区における農業用水の安定供給を図り、もって、農業の生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の確立を目的に、基盤整備の改善及び適正な施設管理を行なうために、関係5市1町で応分の負担金を支払うもの。	(2) 対象(誰、何) 相模川左岸土地改良区 受益面積 65.4ha (全体745.0ha) 対象数 組合員206名 (全体3,136名)
--	--

(3) 平成13年度事業の内容 相模川左岸土地改良事業負担金 臨時総代会 1回開催 通常総代会 1回開催 理事会 5回開催 監事会 3回開催 委員会 3回開催 市町主任者会議 3回開催  全体負担額(5市1町)に対する本市負担額 維持管理事業: 1,970,400円(全体24,000,000円) 防災対策事業: 1,508,600円(全体18,375,000円) 用排水路事業: 334,200円(全体4,070,000円) 合計 3,813,200円(全体46,445,000円)	(4) 総合計画・実施計画における概要 なし  (5) 個別計画の概要 計画名 計画年次 年度~ 年度
---	--

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位:千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額				
	人員・時間数				
	人件費				
	その他経費				
	合計	0	0	0	0
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%> )	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由：相模川本流から取水された用水は、農業用利水のほか5市1町の広域的な面積を潤し、内陸部などの下流部にある枯渇した都市河川への貴重な維持用水となるなど、水循環・水環境の創出を担っている。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由：5市1町による土地改良区を組織的に運営しているため、基盤整備や農業利水の維持管理の共有化により合理的かつ効率的である。また、費用負担は各市町の受益面積按分となっており、経済的である。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由：当区は土地改良法に基づく県営土地改良事業で、土地改良区5市1町を包括する広域的な施設運営を行なっている。県営事業に対し直接受益を得る各市町の役割分担は適当である。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由：土地改良区全体で一括管理された施設運営がなされているため、個々の費用負担が軽減され合理的に水の安定供給が可能となっている。このことは農業生産性の向上へと繋がり、満足度は高いといえる。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由：広域的なほ場を有していることから、国庫補助金等の特財の確保が図れるなど、安定した農業生産基盤の整備へと繋がるため、有効性は高い。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<b>説明：</b> 時代変化に伴い求められている環境保全に配慮した、新たな水循環・水環境の創設が必要である。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<b>説明：</b> 農業生産性の向上など施設の維持管理等に係る経費を圧縮することは、農業生産性の低下を招くなど影響が大きい。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	5市1町を包括した広範な土地改良区であり、土地改良区により一括管理された施設運営は経済的かつ合理的なものであるが、これらの施設は構築後30余年が経過していることから老朽化が進み、維持管理費の更なる増加が想定される。今後は、いかに維持経費を抑制し、適正な管理運営がされるかが課題となる。このため、単に農業施設としての捉えだけではなく、農業生産性を落とさない範囲で、水循環・水環境の創設を視点とした新たな水資源の多目的有効活用を推進する必要がある。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点